



結論		
⑩ ~ ⑨		段落
<p>例 それぞれの生息環境に合わせて動物たちは進化してきた。 動物たちから学べることは、まだたくさん のこされている。</p>		述べられている内容

本論 3		
⑧ ~ ⑦		段落
<p>例 著者が考えたこと</p>	<p>例 著者が調べたこと</p>	<p>例 様々な動物の泳ぐ速さ</p>



- ⑤ エンペラーペンギン
- ④ キングペンギン
- ③ コガタペンギン
- ② ウエッデルアザラシ
- ① バイカルアザラシ

(3) 図に当てはまる動物の名前を書き込みましょう。

例 体重十トンを超える、マッコウクジラは、ペンギンやアザラシよりも遥かに大きい、ペンギンやアザラシと同じような速さで泳いでいたということ。

(2) マッコウクジラの研究から分かったことをまとめましょう。

4 本編3を読んで答えましょう。

(1) ここで、筆者がシロナガスクジラからウトウという様々な大きさの動物の泳ぐ速さを調査した理由を答えましょう。

例 とても体の大きな動物から、とても体の小さな動物まで調べることで、動物の体の大きさと泳ぐ速さの関係を明らかにするため。
など

(2) これらの実験結果から考えられることとして筆者が述べていることをまとめましょう。

例 体の大きさは、まったくことなるのに、泳ぐ速さは、時速四・〇から八・〇キロメートルのせまい範囲におさまっていること。

5 本編1〜3で述べられた実験から分かることをまとめましょう。

例 時速四・〇から八・〇キロメートルが、動物たちにとってエネルギー消費を最小限におさえる、ちょうどよい速度だということ。

三 筆者がいちばん言いたいこと(要旨)を考えましょう。

一 文章構成図をもとに、筆者の要旨をまとめます。五つのまとめりから必要な言葉をかきぬきましょう。

例 海の動物
泳ぐ速さ
体の大きさ
生息環境にあわせて
進化

2 1で書きぬいた言葉を使って、五十字以上六十字以内で要旨をまとめましょう。

例

結	く	生	さ	
果	ら	育	と	海
、	し	環	泳	の
進	ぶ	境	ぐ	動
化	り	に	速	物
し	を	あ	さ	た
て	工	わ	は	ち
き	夫	せ	関	の
た	し	て	係	体
。	続	日	な	の
	け	々	い	大
	た	の	。	き

50字